平成 21 年度文部科学省科学技術振興調整費（女性研究者養成システム改革加速）事業
「輝け、女性研究者！ 根を張れ、花咲け、実を結べ@北大」

FResHU F3 Green Symposia Series #1

Produced by Dr. Masayo Soma

社会行動の進化

鳥類・霊長類・そしてヒトへ

2010 年 2 月 18 日 (木) 15:00〜18:30
北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」
レストラン・エルム

参加無料
（事前参加登録
不要です）

ヒトを含め動物の暮らす社会は，多面的な個体間関係によって構成されています．とりわけ鳥類や霊長類においては，両親による育児への寄与や，それに伴うつがいの絆，兄弟・血縁関係があるだけでなく，さらに群れ生活の中でも多様な個体間相互作用が展開され，その中をうまく生き抜くすべとして動物は様々な社会行動を呈します．このような行動と，それを支えるコミュニケーション能力は，どのような機能を持ちなぜ進化してきたのか，行動生態学・動物行動学・比較認知科学・進化心理学など相交わる多角的な視点から，気鋭の女性研究者に近年得られた知見を紹介して頂き，社会行動の進化を考えたいと思います．

歌鳥の親子関係・社会関係にみる歌学習

北海道大学大学院理学研究院生命理学部門生命機能科学分野　相馬 雅代

セキセイインコにおけるつがい関係の理解

慶應義塾大学大学院社会学研究科心理学専攻　一方井 祐子

マーモセットにおける親子間の行動

東京大学総合文化研究科生命環境科学系認知行動科学研究室　齋藤 慈子

群れ生活における動物の葛藤解決行動
Conflict management in group living animals (英語講演)

総合研究大学院大学葉山高等研究センター・エモリー大学　Teresa Romero

ヒトの配偶者選択研究のいま

お茶の水大学大学院人間文化創世科学研究科発達心理研究室・学術振興会　坂口 菊恵

FResHU F3 Green Symposia Series は、北海道大学の理学系・工学系・農学系の研究分野で活躍する
フレッシュでアクティヴな女性教員が自ら企画・発信するシンポジウムです。

お問い合わせ
北海道大学女性研究者支援室　freshu@jimu.hokudai.ac.jp　011-706-3625
北海道大学 F3 プロジェクト　http://f3project.ist.hokudai.ac.jp